

## 脳死・臓器移植を考える～脳死者からの臓器移植は人を幸せにするか？

### 目的

- 脳死者からの臓器移植のメリットとデメリットについて説明することができる。
- 様々な情報にアクセスし（自分の目で見ると）、情報自体の信頼性・妥当性を検討し、何が見えていて何が見えていないかを判断することができる（自分の頭で考える）。
- 「答えのない問い」に対して、根拠に基づき、自分の納得解を得ることができる。

課題1 脳死とは何か？

課題2 なぜ「脳死」と「臓器移植」が関係するのか？（脳死以外の死との違いは？）

課題3 脳死臓器移植の推進派と反対派の意見を整理せよ。

※「必要性」と「有用性」を確認するとよい。

※「必要性」に関しては、「脳死からの臓器移植を待つ患者がどのくらいいるか」を知らなければならない。

※「有用性」に関しては、「脳死からの臓器移植で実際にどのくらいの効果が出ているのか」を知らなければならない。

※「脳死判定基準」そのものが妥当なものかどうか判断すべき。

※情報の信頼性や妥当性を判断すること（誰が、何の目的で発信しているか？）

※不足すると思われる情報を自分で判断して情報をとってくること。

課題4 以上をふまえて、自分は脳死・臓器移植に関してどのように考えるか？（提出用プリントに記入）



# 「脳死・臓器移植を考える」授業の記録プリント

## 1、【授業前】脳死・臓器移植についての意見

自分 : 臓器提供可 (すべて)    臓器提供可 (条件付き)    臓器提供不可  
 家族 : 臓器提供可 (すべて)    臓器提供可 (条件付き)    臓器提供不可

## 2、【授業後】脳死・臓器移植についての意見

自分 : 臓器提供可 (すべて)    臓器提供可 (条件付き)    臓器提供不可  
 家族 : 臓器提供可 (すべて)    臓器提供可 (条件付き)    臓器提供不可

## 3、各項目に関して、以下の1～5の中で当てはまるものに○をつけて下さい。

1 : できなかった    2 : どちらかといえばできなかった    3 : どちらともいえない  
 4 : どちらかといえばできた    5 : できた

1	知りたいことに関して、適切に情報収集する。	1	2	3	4	5
2	検索した情報がどの程度信頼できるのか判断する。	1	2	3	4	5
3	教科書に書かれていることや検索した情報、教師の説明を鵜呑みにせず疑う。	1	2	3	4	5
4	わからない問題を前にして、すぐに「答え」を探しに行くのではなく、まず自分で考える。	1	2	3	4	5
5	「問い」を適切に設定する (問題発見力)。	1	2	3	4	5
6	「問い」に対して考察を深め、解決を図る。(問題解決力)。	1	2	3	4	5
7	時間を最大限有効に使う。	1	2	3	4	5
8	興味・関心をもつ。	1	2	3	4	5
9	意欲的に取り組む。	1	2	3	4	5
10	内容を理解する。	1	2	3	4	5

## 4、各項目に関して、以下の1～5の中で当てはまるものに○をつけて下さい。

1 : そう思わない    2 : どちらかといえばそう思わない    3 : どちらともいえない  
 4 : どちらかといえばそう思う    5 : そう思う

1	多様な意見に触れることができた	1	2	3	4	5
2	人の意見から刺激を受けた	1	2	3	4	5
3	人の意見から新たな視点を獲得することがあった	1	2	3	4	5
4	ディスカッションを行う上で十分な背景知識があった	1	2	3	4	5
5	ディスカッションで積極的に発言できた	1	2	3	4	5
6	発言することによって知識・理解が整理された	1	2	3	4	5
7	人の発言を聞くことによって知識・理解が整理された	1	2	3	4	5
8	ディスカッションを通じて「わからない」ことが明確になった	1	2	3	4	5
9	ディスカッションを通じて自分が様々な課題の当事者になりうる「当事者意識」を感じた	1	2	3	4	5
10	差別や偏見の意識が少なくなった	1	2	3	4	5
11	ディスカッションは自分にとって意味のある時間だった	1	2	3	4	5
12	講義のみよりもディスカッションがある方が望ましい	1	2	3	4	5

5、授業をふまえての、脳死・臓器移植に関する自分の意見（「根拠」とともに）

6、授業を通じて得られた気づき

7、授業に対する意見・感想

クラス・番号（4桁で記入） \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_